

## 感謝報告

いずみの活動をおぼえて祈りとともにたくさんのご支援を頂き、心から感謝申し上げます。日本基督教団東日本大震災救援募金の「いずみ」への指定献金をご報告いたします。記載落し・ミス等ございましたらご連絡ください。(敬称略・順不同・特別記載のない団体は教団の教会・団体です。)なお、第二号のニュースレターに「豊島丘教会」と掲載いたしましたが、正しくは「豊島岡教会」でした。訂正し、お詫び申し上げます。

**個人献金** 神節子、最上光宏・久美子、木村理恵、佐々木潤、堀江知己、匿名(合計 235,000円)

**団体献金** 武蔵野教会、碧南教会、日本基督教団教育委員会(合計 1,013,581 円)

**献品** 佐藤照子、谷関恭子

以上感謝をもってご報告させていただきます。(2014年3月～2014年7月末)

### 「いずみの会」がスタートしました！

「いずみの会」が2014年4月に発足しました。

「いずみの会」は、「放射能問題支援対策室いずみ」の活動に賛同し、その活動を支えて下さる会員を募集しております。年会費は、正会員(一口3,000円)、賛助会員(一口1,000円)、団体正会員(一口5,000円)です。お問い合わせは、放射能問題支援対策室「いずみの会」まで。今まで入会いただいた方のお名前のみを掲載いたします。(敬称略・順不同)

佐藤規子、上野和明、小川幸子、渡辺朋美、古谷直美、井ノ上利恵、佐藤悦江、石橋秀雄、篠原恭子、三浦信子、吉田美雪、吉川進、樺山のぞ美、板垣乙未生、今村春子、西澤晴代、須藤道子、黒瀬輝彦、松本芳哉、遠矢沢代・温子、吉田嘉恵、前田久平・幸子、布田秀治、保科隆、篠原弘典 (2014年7月末日)

### ご支援のお願い

いずみの活動は国内外のキリスト教支援活動によって支えられています。

この活動をつづけていくために皆様のご協力をお願いいたします。

日本基督教団東日本大震災救援募金に

「東北教区放射能問題支援対策室いずみ」への指定献金としてお振込みください。

送金先	ゆうちょ銀行
振替口座	記号番号 00110-6-639331
加入者名	日本基督教団東日本大震災救援募金
通信欄に	「東北教区放射能問題支援対策室いずみ指定献金」 とお書きください。

**運営委員長** 小林休(鳴子教会)

**運営委員** 明石義信(常磐教会) 保科隆(仙台東一番丁教会)  
布田秀治(いずみ愛泉教会) 最上千絵子(仙台北教会)

**室長** 保科隆(仙台東一番丁教会)

**顧問** 篠原弘典(原子核工学専門家)

**スタッフ** 後藤重雄 渡辺広衛 服部賢治 阿部奈々

### 日本基督教団東北教区 放射能問題支援対策室いずみ

UCCJ Tohoku District Nuclear Disaster Relief Task Force "IZUMI"  
〒980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目13-6  
TEL/FAX 022-796-5272  
メールアドレス izumi@tohoku.uccj.jp  
ホームページ http://tohoku.uccj.jp/izumi/

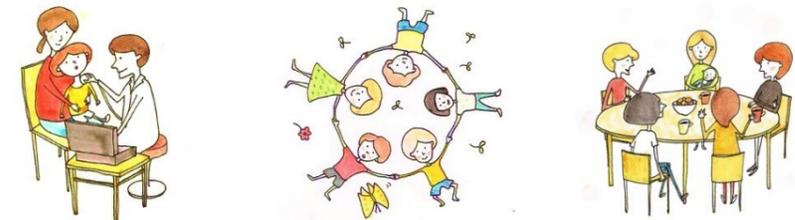


# いずみ

題字 丹治正雄氏

日本基督教団東北教区放射能問題支援対策室いずみです。

放射能汚染により傷ついている人々に対して、様々な方向からの支援と心のケアを展開する東北教区の機関です。仙台を拠点として、放射能問題における情報発信と連携のキーステーションとなることを目的として、2013年10月から活動を始めています。



『健康相談と検診』『保養プログラム』『訪問と傾聴』という3本の柱をもとに様々な活動を行っていきたく思います。

私たちの小さな働きが、原発事故で疲れ・不安を抱えた方々にとって“いずみ”となることができますように…

## 講演会

いずみでは、放射能の問題や今後の対応について、様々な分野の専門家をお招きして講演会・学習会を開催しています。

今回は、5月24日(土)に東北大学大学院薬学研究科ラジオアイソトープ研究教育センター講師の吉田浩子氏をお招きしました。

「宮城県子どもの被ばく線量調査研究～中間報告・宮城県子どもの被ばく線量調査研究でわかったこと～」と題した講演会を行い、東京電力福島第一原子力発電所事故後、宮城県内の高濃度汚染地域に住む子どもを中心とした被ばく線量の調査についての報告、また調査研究に基づき、内部被ばく・外部被ばくを低減させる対策についてお話をいただきました。

会場の仙台青葉荘教会礼拝堂には、103名の方がお集まり下さり、熱心に耳を傾けていました。



吉田浩子氏



講演会のようす

当日の資料をいずみのHPに掲載しております。なお、いずみには、当日使用した資料が若干ございます。お近くに御用の際は、ぜひお立ち寄りください。お待ちしております。(※資料の複製や無断流用は固く禁じます。)

## 教区総会協議会



5月27日(火)に「東北教区総会」の夜のプログラムとして協議会が開かれました。

『東北教区における放射能汚染の現状と問題』というテーマのもと、いずみとして、放射能問題の現状と、その活動を報告しました。

報告の最後には、福島から他県に避難し帰還を余儀なくされた二人の母親から体験談を話していただきました。時折涙ぐまれながらお話しする二人のリアルなお話からは、被災者のつらい現実が重く伝わってきました。



会場になった東北教区センター「エマオ」3階の会議室には、教区の皆様が大勢お集まりになり、用意した席が足りなくなっていました。放射能問題に対する皆様の関心の高さを示すものです。それはまた、いずみへの期待の高さを示すものとして受け止めました。

(上:東北の放射能汚染の現状と、いずみの活動を報告する小林運営委員長。右:協議会で聞き入る様子)

## 第三回短距離保養プログラム



平筒沼の棧橋にて

7月12日～13日までの二日間、宮城県登米市にある「手のひらに太陽の家」に、3家族、8名(大人4名、子ども4名)と共に保養プログラムを行いました。

第二回目の短距離保養プログラムは、大雪に見舞われて中止になりましたが、今回は快晴に恵まれました！沼の多い自然空間の中で過ごすことができ、汗をかきながらのびのびと遊んでいる子どもたちの姿が印象的でした。



.....

今回の短距離保養プログラムの食材は、「あいコープみやぎ」さんからのご協力もあり、安心安全な食材を使うことができました。

(「あいコープみやぎ」さんは、食物の放射能を自主測定し、国の基準よりさらに厳しい「自主基準」を設けており、その結果を公開しています。)献立は、栄養士の資格を持ったボランティアスタッフによるもので、栄養のバランスを考えられた食事となりました。ボランティアスタッフと参加者全員で料理作りを行いました。



みんなでジャガイモほり！

## 映画「A2-B-C」 上映決定！

映画「A2-B-C」を上映します！  
この映画は日本在住のアメリカ人監督イアン・トーマス・アッシュが「フクシマ」を描いたドキュメンタリーです。テレビでは報道されない厳しい現実と福島に住む人々の切実な訴えが、カメラを通して静かに映し出されます。どうぞご覧ください。



日にち 9月27日(土)  
時間 16:00～ / 18:30～ (二回上映します。)  
場所 東北教区センターエマオ 三階  
(仙台市青葉区錦町1-13-6)  
料金 無料 ※要予約  
電話、fax、メール等で「いずみ」にお申込ください。

「A2-B-C」 2013年 / 日本 / 71分 / 日本語 & 英語  
監督: イアン・トーマス・アッシュ 配給: A2-B-C上映委員会  
(c) Ian Thomas Ash 2013

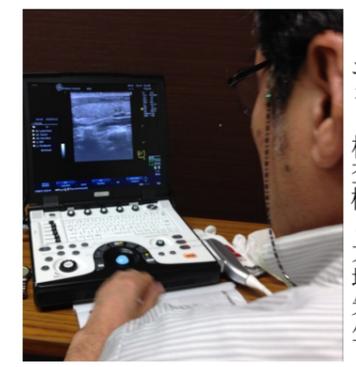
## 甲状腺検診

甲状腺検診をこれまでに4回行い、約160名が検診を受けました。第四回目の検診では、福岡県より「おおつか小児科アレルギー科クリニック」院長の大塚純一先生に検診をお願いしました。いずみでは、今後もエコーによる甲状腺検診を実施していきます。仙台だけではなく、白石市、角田市での検診を予定しています。

甲状腺検診は  
ご予約が必要です  
「いずみ」へお問い合わせください。

..... 甲状腺検診の予定 .....

白石市 8月31日(日) 11:00～15:30 場所:白石市ふれあいプラザ  
仙台市 9月21日(日) 10:00～14:30 場所:仙台ビジネスホテル  
角田市 10月26日(日) 16:00～17:30 場所:オーク・プラザ  
(角田駅コミュニティプラザ)



エコー検査機と大塚先生